



新年明けましておめでとうございます。二週間の冬休みが終わり、1月8日（木）から学校が始まりました。生徒たちの明るい笑顔と元気な声が学校に戻り、活気に満ちた新しい1年のスタートを切ることができました。

2026年は午年（うまどし）です。午は十二支のちょうど真ん中にあたり、太陽が最も高く昇る正午を表すそうです。これは、物事が最高潮に達する時期、成長のピークやエネルギーの充実を意味します。そのため、午年は「勢いよく進む」「大きく成し遂げる」年といえます。

湘光生が様々な課題に柔軟に対応しながら、元気よく成長し、大きく飛躍することを楽しみにしています。本年もどうぞよろしくお願ひします。

第2学年 食育講座【11月20日（木）】

大井町子育て健康課職員、学校給食センターの吉田栄養教諭を講師としてお招きし、食育講座を実施しました。テーマは「生活習慣病の予防」です。大井町では、特に高血圧が県や国と比べて高い水準になっています。大人はもちろん、成長期の中学生のうちから気を付けていくことが大事です。生活習慣病にならないようにするには「運動とバランスの良い食事」「SOS食品(sugar,oil,salt)を取り過ぎないこと」が大事です。中学生は、体の調子を整える役割をする副菜（野菜・海藻・キノコ）の摂取量が少ない傾向があるそうです。好き嫌いをせず、元気な体をつくっていきましょう！



第1学年 防災教室【12月8日（月）～9日（火）】

「自然災害にはどんなものがありますか？」

「避難所に行くことだけが避難ではありませんよ！」

総合的な学習の一環として、大井町防災安全課職員をお招きして防災教室を開催し、防災対策について学びました。

「家に帰ったらハザードマップや避難所について家族と話してみます」と感想を述べる生徒も。ぜひご家庭でも確認を！

○安全は「日頃からの備え」が必要。「備える」ということは食料を備蓄することだけではない。避難所はどこ？

○自分の命は自分で守る！自分の家族は自分が守る！生死の別れ目の72時間（3日間）をどう生き延びるか！



能登半島地震への災害支援派遣の経験を踏まえたお話はとても説得力がありました。

PTA家庭教育学級【11月27日（木）】



PTA 成人教育委員会主催で、フラワーアレンジメント講師をお招きした家庭教育学級を開催しました。色とりどりの季節の花に触れながら個性豊かな作品を作ることができました。

令和8年度入学保護者説明会

【12月2日（火）】

「お子様が中学校に入学するのは初めてというご家庭の方はどれくらいいらっしゃいますか？」と尋ねたところ、7割くらい手を挙げてくださいました。期待と不安があるかと思いますが、湘光中の全教職員で生徒を支えてていきたいと考えています。なお、新入生を対象とした説明会は2月2日(月)に予定しています。

湘光生の活躍



○神奈川県中学校美術展

優良賞 3年 さん

○第49回神奈川県アンサンブルコンテスト中学生の部 金賞 木管打楽器八重奏

○第69回足柄上地区ロードレース大会

中学男子の部 第2位 さん 第4位 さん

中学女子の部 第5位 さん 第8位 さん

○第71回青少年読書感想文コンクール神奈川県審査会

入選 3年 さん 3年 さん
2年 さん 1年 さん

○第48回神奈川県福祉作文コンクール

最優秀賞 3年 さん

○大井町福祉作文コンクール

優秀賞 3年 さん 3年 さん
2年 さん 1年 さん

○校内書初め展

金賞 1年 さん 2年 さん 3年 さん

銀賞 1年 さん さん

2年 さん さん

3年 さん さん

銅賞 1年 さん さん

2年 さん さん

3年 さん さん



3年生が美術科で制作した
ひょうたんランプが
上大井駅に飾られました。



各学年の金賞作品は
一年間会議室に
掲示します

いよいよ入学試験（学力検査等）が始まります。頑張れ！3年生！！

これから多くの3年生が、推薦や一般の入学試験（面接・学力検査等）にチャレンジします。生徒一人ひとりが将来を見据えた進路選択ができるよう、全力でサポートしていきたいと考えています。また、進路だより等で様々な進路日程をご連絡していますが、ご不明な点がありましたら3学年職員にご相談くださるようお願いします。

＜神奈川県内の主な私立高校＞

1月中旬 推薦入学試験

2月10日（火） 入学試験 ※試験日が異なる学校があります

＜神奈川県立高校＞

2月17日（火）～19日（木） 共通選抜 共通検査（学力検査等）・特色検査

【校長室の窓から～世の中の「価値のあるもの」～】

冬休み明けの全校集会の校長講話で「世の中には役に立つかどうか分からぬけれど、『価値のあるもの』がたくさんある」という話をしました。「今は必要ないかも？」と思うことでも、時間が経つた後に「必要だったな、重要だったなど気づくものがあると思うよ」と語りかけました。

私は理科の教員なので、科学の視点から考えてみると、人類の発展は「一見すると自分に関係なさそうな研究」「役に立たない研究」の積み重ねでできていると思うのです。人工電波の生成に成功した科学者のヘルツさんは「それが何の役に立つか」と問われたとき、「多分、何にも役に立たない」と答えたそうです。電磁誘導の原理を発見した科学者のファラデーさんは「それが役に立つか」と問われたとき、「産まれたばかりの赤ん坊が、将来、何の役に立つか一体誰が分かるでしょう？」と答えたそうです。しかし、この2人の発見により、のちに人類は電波を自由自在に使えるようになりました。この発見がなければ、私たちは今、スマホを使うことはできません。

中学生の皆さん、今は気になることに片っ端から目を向けていい時期だと思いますよ！